

平成12年社会医療診療行為別調査

# 薬剤使用状況の概況

(平成12年6月審査分)

## 目次

調査の概要	1頁
-------	----

### 結果の概要

#### I 一般医療－老人医療別にみた薬剤使用状況（入院外）

1 処方状況	3
2 投薬における薬剤点数の状況	4
3 投薬における薬剤種類数の状況	5
4 投薬における薬価階級別薬剤点数の状況	6

#### II 主な傷病別にみた薬剤使用状況（入院外）

1 処方状況	7
2 投薬における薬剤点数の状況	8
3 投薬における薬剤種類数の状況	9

#### III 薬効分類別にみた薬剤使用状況（入院・入院外）

IV 参考表	11
--------	----

厚生労働省大臣官房統計情報部

担当 社会統計課社会医療薬剤統計専門官

TEL (03)5253-1111 内線7557

厚生労働省ホームページ(URL) <http://www.mhlw.go.jp/>

# 調 査 の 概 要

## 1 調査の目的

この調査は、政府管掌健康保険（以下「政管健保」という。）、組合管掌健康保険（以下「組合健保」という。）及び国民健康保険（以下「国保」という。）における医療の給付の受給者にかかる診療行為の中から薬剤の使用状況を明らかにし、医療保険行政に必要な基礎資料を得ることを目的とした。

## 2 調査の客体

社会医療診療行為別調査（第1次抽出単位を保険医療機関、第2次抽出単位を診療報酬明細書（以下「明細書」という。）とする層化無作為二段抽出法による調査）の医科診療分明細書を調査客体とした。

明 細 書 枚 数

	総 数	一般医療	老人医療
総 数	380 799	214 931	165 868
入 院	61 133	37 789	23 344
入 院 外	319 666	177 142	142 524

## 3 調査の期間

平成12年6月審査分

## 4 調査の事項

明細書に記載されている事項のうち、投薬、注射等に使用された薬剤の種類、点数等を調査事項とした。

## 5 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

## 6 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は、政管健保、組合健保及び国保における平成12年6月審査分の全国推計数である。
- (2) 所定単位当たりの薬価が205円以下（20点以下）の場合、明細書に薬剤名の記載は必要ないこととされているため、この場合は「薬剤名無記載」とした。
- (3) 傷病名について、明細書に複数記載されている場合は、診療内容のみで選択した。

- (4) 傷病分類については、ICD（国際疾病分類）-10を準用した。
- (5) 年齢階級の「70～79歳」には、「65～69歳」で老人保健法の適用を受ける者を含めている。
- (6) 掲載の数値は、四捨五入等のため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
- (7) 表章記号の規約

数値が最小単位に満たない場合	0.0
----------------	-----

- (8) 薬価基準の改定率（%）

改定年月	薬価ベース	医療費ベース
平成12年4月	△ 7.0	△ 1.6

## 7 用語の定義

- (1) 一般医療

0歳から69歳までの者（65歳以上で老人保健法の適用を受ける者を除く。）が疾病又は負傷に関して、保険医療機関において受けた療養の給付をいう。

- (2) 老人医療

老人保健法の適用を受ける者が疾病又は負傷に関して、保険医療機関において受けた医療の給付をいう。

- (3) 件数

明細書1枚を1件という。

- (4) 点数

各都道府県の社会保険診療報酬支払基金支部及び国民健康保険団体連合会において審査決定された診療報酬点数をいう。

- (5) 包括点数

入院外の包括点数には、「老人慢性疾患外来総合診療料」、「小児科外来診療料」、「運動療法指導管理料」、「寝たきり老人在宅総合診療料」及び「在宅末期医療総合診療料」がある。

- (6) 処方回数

処方料又は処方せん料の算定回数をいう。

- (7) 薬剤種類数

「薬価基準」に記載されている品名ごとに数えている。

- (8) 薬効分類

日本標準商品分類に基づき、厚生労働省が「薬事工業生産動態統計」に用いている医薬品の分類で、2つ以上の薬効のあるものは主要薬効に分類している。

# 結果の概要

## I 一般医療—老人医療別にみた薬剤使用状況（入院外）

### 1 処方状況

入院外における処方の種類別件数の構成割合をみると、一般医療では「院内処方」49.2%、「院外処方」33.0%、「処方なし」14.9%、「包括点数算定」2.5%となっている。老人医療ではそれぞれ50.2%、30.4%、7.2%、11.8%となっており、一般医療に比べ「包括点数算定」の割合が多くなっている。前年と比べると、一般医療、老人医療とも「院外処方」の割合が増加している。

1件当たり処方回数は、老人医療では「院内処方」、「院外処方」とも前年に比べ増加している。

(表1、図1)

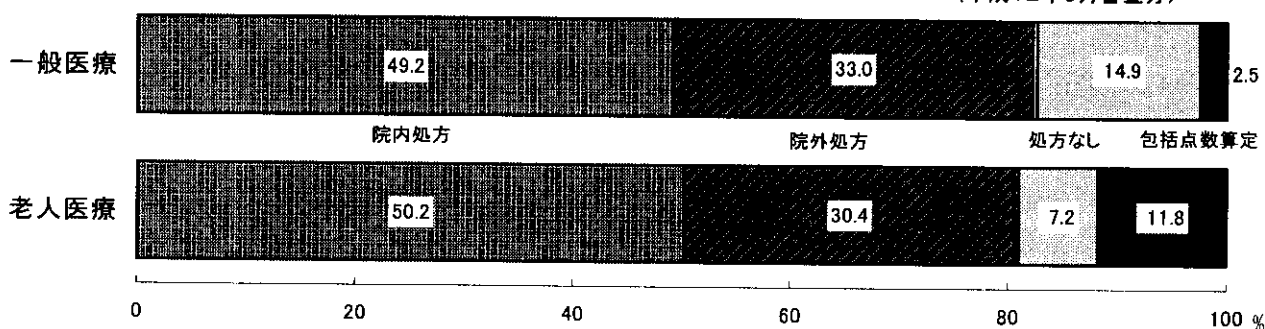
表1 一般医療—老人医療別にみた処方の種類別件数の構成割合、1件当たり処方回数(入院外)

	総数	院内処方	院外処方*	院内院外両方	処方なし	包括点数算定	1件当たり処方回数	
							院内処方(回数)	院外処方(回数)
総数	100.0 (100.0)	49.5 (54.1)	32.3 (27.6)	0.4 (0.3)	12.8 (12.6)	5.0 (5.4)	1.71 (1.69)	1.60 (1.55)
一般医療	100.0 (100.0)	49.2 (54.1)	33.0 (28.5)	0.4 (0.4)	14.9 (14.4)	2.5 (2.6)	1.60 (1.61)	1.53 (1.51)
0~14歳	100.0	39.1	32.6	0.5	16.6	11.3	1.47	1.51
15~39歳	100.0	47.2	31.9	0.5	20.4	0.0	1.44	1.39
40~69歳	100.0	53.6	33.7	0.3	12.0	0.4	1.70	1.60
老人医療	100.0 (100.0)	50.2 (54.3)	30.4 (25.0)	0.4 (0.3)	7.2 (7.4)	11.8 (13.0)	2.01 (1.94)	1.81 (1.70)
70~79歳	100.0	50.4	30.8	0.3	7.4	11.2	1.98	1.78
80歳以上	100.0	49.9	29.5	0.4	6.9	13.3	2.07	1.88

注: 1 \*は全明細書に対する「処方せん料」が算定されている明細書の割合である。  
 2 年齢階級の「70~79歳」には、「65~69歳」で老人保健法の適用を受ける者を含めている。  
 3 ( )内は平成11年6月審査分

図1 一般医療—老人医療別にみた処方の種類別件数の構成割合(入院外)

(平成12年6月審査分)



## 2 投薬における薬剤点数の状況

入院外の投薬における薬剤点数別件数の構成割合をみると、「500点未満」の割合が一般医療では75.1%、老人医療では51.1%と、最も多くなっている。

「1000点以上」は、それぞれ9.5%、25.1%となっており、一般医療に比べ、老人医療の割合が多くなっている。

前年と比べると、一般医療では「500点未満」は多くなっているが、他の階級では少なくなっている。老人医療ではあまり変化がみられない。（表2、図2）

表2 一般医療-老人医療別にみた薬剤点数別件数の構成割合(入院外・投薬)

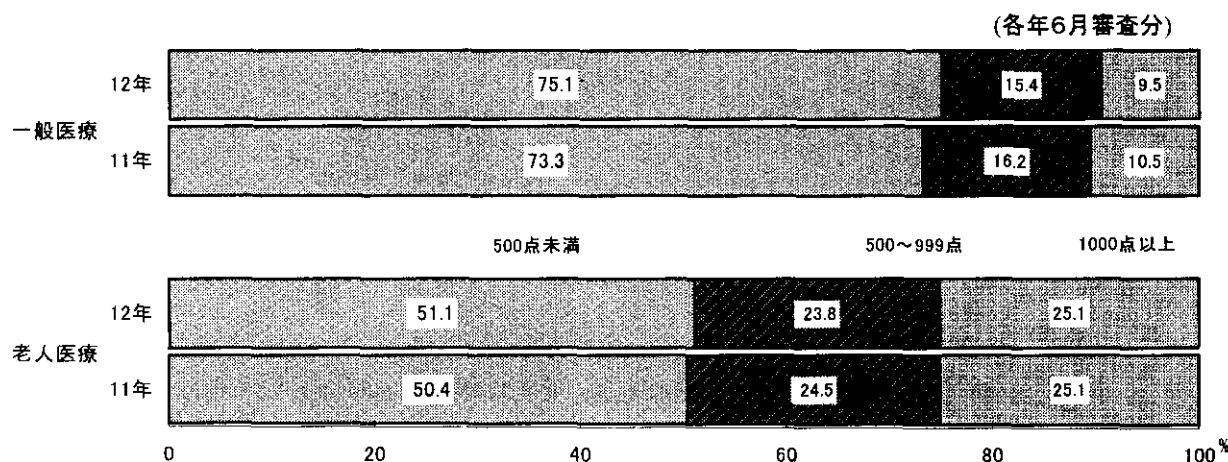
	総数	500点未満						500~999	1000~1499	1500~1999	2000点以上
		総数	100点未満	100~199	200~299	300~399	400~499				
総数	100.0 (100.0)	68.4 (67.2)	24.7 (23.7)	18.2 (17.5)	11.6 (11.7)	8.3 (8.6)	5.7 (5.8)	17.7 (18.4)	6.9 (7.2)	3.2 (3.4)	3.7 (3.8)
一般医療	100.0 (100.0)	75.1 (73.3)	28.1 (26.8)	20.7 (19.7)	12.4 (12.7)	8.3 (8.6)	5.5 (5.5)	15.4 (16.2)	5.0 (5.5)	2.2 (2.4)	2.3 (2.6)
0~14歳	100.0	92.5	48.1	24.2	11.1	5.9	3.2	5.7	1.1	0.3	0.3
15~39歳	100.0	86.6	34.3	26.1	13.8	7.7	4.7	8.9	2.6	1.0	0.9
40~69歳	100.0	66.3	20.6	17.8	12.2	9.2	6.4	20.4	6.9	3.1	3.4
老人医療	100.0 (100.0)	51.1 (50.4)	16.0 (15.1)	11.5 (11.3)	9.3 (9.1)	8.1 (8.5)	6.2 (6.4)	23.8 (24.5)	11.9 (12.1)	6.0 (6.1)	7.2 (6.9)
70~79歳	100.0	52.4	16.3	11.9	9.6	8.3	6.3	23.2	11.4	5.7	7.2
80歳以上	100.0	48.0	15.3	10.6	8.6	7.5	5.9	25.1	13.2	6.7	7.1

注:1 「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。

2 年齢階級の「70~79歳」には、「65~69歳」で老人保健法の適用を受ける者を含めている。

3 ( )内は平成11年6月審査分

図2 一般医療-老人医療別にみた薬剤点数別件数の構成割合(入院外・投薬)



### 3 投薬における薬剤種類数の状況

入院外の投薬における薬剤種類数別件数の構成割合をみると、一般医療では「1～2種類」の割合が58.7%と過半数を超えており、「3～4種類」、「5～6種類」、「7種類以上」の割合は27.4%、9.1%、4.8%となっている。老人医療でも「1～2種類」の割合が44.2%で最も多く、「3～4種類」、「5～6種類」、「7種類以上」の割合は29.9%、14.7%、11.1%となっている。「1～2種類」の割合は一般医療で多く、「3～4種類」以上になると老人医療が多くなっている。

1件当たり薬剤種類数をみると、一般医療2.69、老人医療3.47となっている。(表3、図3)

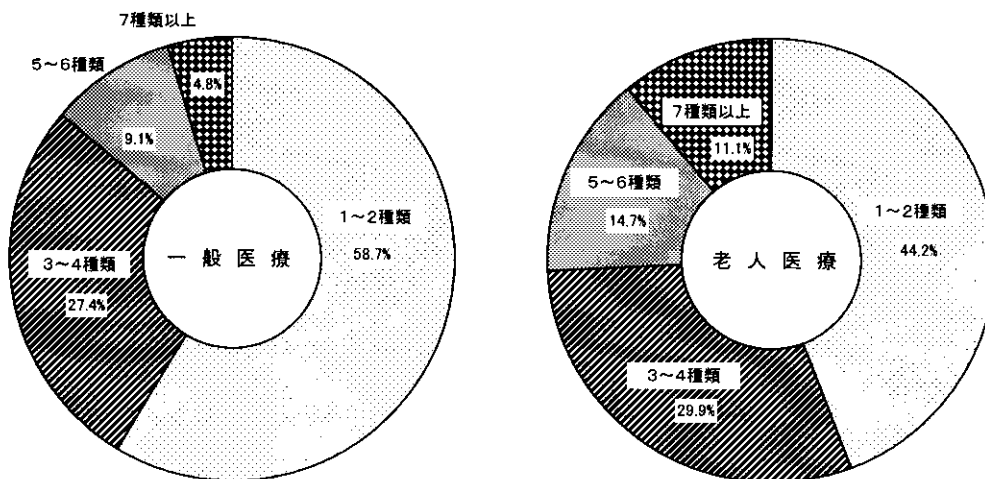
表3 一般医療—老人医療別にみた薬剤種類数別件数の構成割合、1件当たり薬剤種類数(入院外・投薬)

	(平成12年6月審査分)											
	総数	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類以上	1件当たり薬剤種類数
総数	100.0 (100.0)	28.3 (28.2)	26.4 (25.7)	17.4 (17.8)	10.7 (10.9)	6.5 (6.7)	4.2 (4.1)	2.6 (2.6)	1.5 (1.4)	0.9 (0.8)	1.5 (1.7)	2.90 (2.93)
一般医療	100.0 (100.0)	31.2 (30.8)	27.5 (26.6)	17.2 (18.0)	10.2 (10.3)	5.7 (5.7)	3.4 (3.5)	2.0 (2.2)	1.2 (1.1)	0.6 (0.6)	1.0 (1.3)	2.69 (2.74)
0～14歳	100.0	29.4	26.3	17.2	11.0	6.5	4.1	2.2	1.1	0.9	1.4	2.83
15～39歳	100.0	31.0	28.4	17.5	10.1	5.7	3.1	1.8	1.2	0.5	0.7	2.63
40～69歳	100.0	31.8	27.5	17.1	10.0	5.5	3.4	2.0	1.2	0.6	1.0	2.67
老人医療	100.0 (100.0)	20.7 (21.1)	23.5 (23.2)	17.9 (17.5)	12.0 (12.5)	8.5 (9.3)	6.2 (5.8)	4.1 (3.9)	2.5 (2.4)	1.6 (1.5)	2.9 (2.8)	3.47 (3.45)
70～79歳	100.0	22.0	24.2	18.0	11.6	8.1	5.6	3.8	2.3	1.5	2.8	3.38
80歳以上	100.0	17.5	21.7	17.7	13.0	9.5	7.7	4.8	3.0	2.0	2.9	3.70

注: 1 「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包摂した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。  
 2 年齢階級の「70～79歳」には、「65～69歳」で老人保健法の適用を受ける者を含めている。  
 3 ( )内は平成11年6月審査分

図3 一般医療—老人医療別にみた薬剤種類数別件数の構成割合(入院外・投薬)

(平成12年6月審査分)



#### 4 投薬における薬価階級別薬剤点数の状況

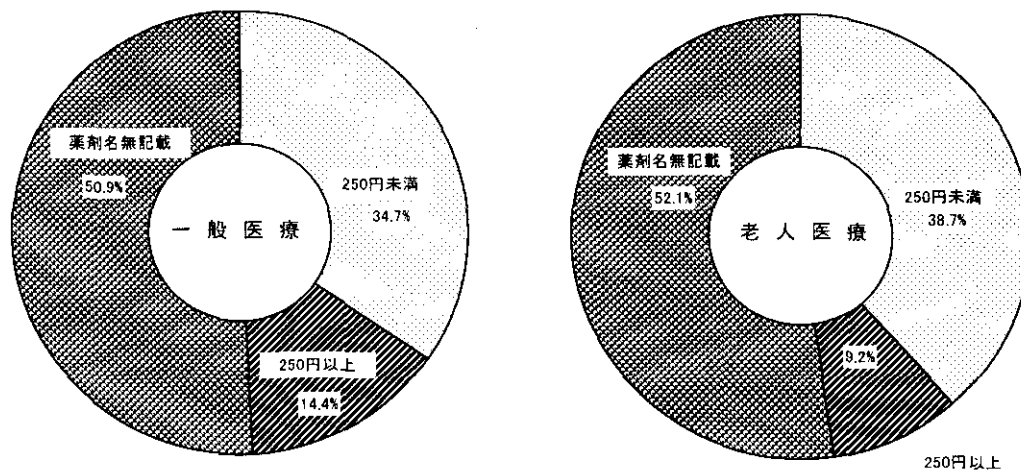
入院外の投薬における薬価階級別薬剤点数の構成割合をみると、薬剤名が記載されており、その薬価が「250円未満」の割合は、一般医療34.7%、老人医療38.7%であり、「250円以上」はそれぞれ14.4%、9.2%となっている。また、「薬剤名無記載」（所定単位当たりの薬価が205円以下）は一般医療、老人医療とも前年より増加し、5割を超えている。（表4、図4）

表4 一般医療-老人医療別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合(入院外・投薬)

	(平成12年6月審査分)									
	総数	総数	50円未満	250円未満				250～499	500円以上	薬剤名無記載
	(%)	(%)	(%)	50～99	100～149	150～199	200～249	(%)	(%)	(%)
総数	100.0 (100.0)	36.3 (38.9)	10.4 (11.3)	10.0 (9.5)	7.5 (9.2)	4.6 (3.8)	3.7 (5.2)	5.6 (5.4)	6.6 (6.0)	51.4 (49.6)
一般医療	100.0 (100.0)	34.7 (38.2)	9.7 (10.5)	10.0 (9.3)	6.8 (9.1)	4.9 (4.0)	3.3 (5.3)	6.1 (6.1)	8.2 (6.2)	50.9 (49.5)
0～14歳	100.0	41.2	10.1	11.5	9.8	9.5	0.3	6.4	20.1	32.2
15～39歳	100.0	42.7	12.5	13.7	8.0	4.3	4.3	4.9	10.9	41.5
40～69歳	100.0	32.3	9.1	9.0	6.2	4.6	3.5	6.4	6.4	54.9
老人医療	100.0 (100.0)	38.7 (40.1)	11.5 (12.5)	10.1 (9.8)	8.7 (9.4)	4.1 (3.4)	4.3 (4.9)	4.9 (4.4)	4.3 (5.8)	52.1 (49.7)
70～79歳	100.0	38.0	11.2	9.8	8.4	4.5	4.2	5.1	4.6	52.3
80歳以上	100.0	40.3	12.0	11.0	9.5	3.4	4.4	4.3	3.7	51.8

注:1 「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。  
 2 年齢階級の「70～79歳」には、「65～69歳」で老人保健法の適用を受ける者を含めている。  
 3 ( )内は平成11年6月審査分

図4 一般医療-老人医療別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合(入院外・投薬)  
(平成12年6月審査分)



## II 主な傷病別にみた薬剤使用状況（入院外）

### 1 処方の状況

入院外における処方の種類別件数の構成割合を主な傷病別にみると、いずれの傷病も「院内処方」の割合が最も多いが、「皮膚炎及び湿疹」及び「喘息」では、その他の傷病に比べ「院外処方」の割合が多くなっている。また、「高血圧性疾患」、「急性鼻咽頭炎（かぜ）」及び「脳梗塞」では、「包括点数算定」の割合が1割を超えている。

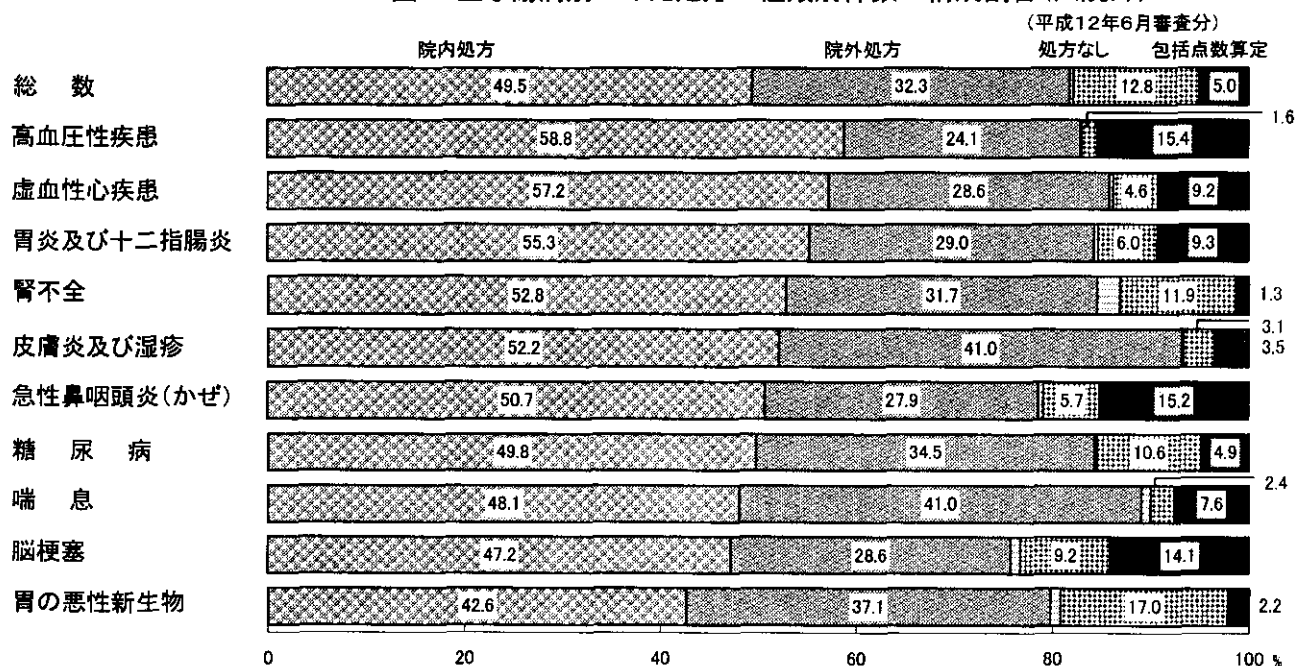
1件当たり処方回数をみると、「腎不全」が「院内処方」4.69、「院外処方」4.63と多くなっている。（表5、図5）

表5 主な傷病別にみた処方の種類別件数の構成割合, 1件当たり処方回数(入院外)

	総数	院内処方	院外処方*	院内院外両方	処方なし	包括点数算定	1件当たり処方回数	
							院内処方(回数)	院外処方(回数)
総数	100.0	49.5	32.3	0.4	12.8	5.0	1.71	1.60
胃の悪性新生物	100.0	42.6	37.1	1.0	17.0	2.2	1.83	1.68
脳梗塞	100.0	47.2	28.6	1.0	9.2	14.1	2.02	1.89
虚血性心疾患	100.0	57.2	28.6	0.4	4.6	9.2	1.86	1.72
高血圧性疾患	100.0	58.8	24.1	0.1	1.6	15.4	1.93	1.80
糖尿病	100.0	49.8	34.5	0.3	10.6	4.9	1.77	1.61
胃炎及び十二指腸炎	100.0	55.3	29.0	0.4	6.0	9.3	1.83	1.77
喘息	100.0	48.1	41.0	1.0	2.4	7.6	1.74	1.65
腎不全	100.0	52.8	31.7	2.3	11.9	1.3	4.69	4.63
皮膚炎及び湿疹	100.0	52.2	41.0	0.2	3.1	3.5	1.43	1.38
急性鼻咽頭炎(かぜ)	100.0	50.7	27.9	0.5	5.7	15.2	1.38	1.43

注：\*は全明細書に対する「処方せん料」が算定されている明細書の割合である。

図5 主な傷病別にみた処方の種類別件数の構成割合(入院外)





## 2 投薬における薬剤点数の状況

入院外の投薬における薬剤点数別件数の構成割合を主な傷病別にみると、「急性鼻咽頭炎(かぜ)」及び「皮膚炎及び湿疹」では「500点未満」の割合がそれぞれ97.6%、88.9%を占めている。

一方、「虚血性心疾患」、「脳梗塞」及び「腎不全」では「1000点以上」の割合がそれぞれ40.2%、43.2%、58.9%となっており、その他の傷病に比べ多くなっている。(表6、図6)

表6 主な傷病別にみた薬剤点数別件数の構成割合(入院外・投薬)

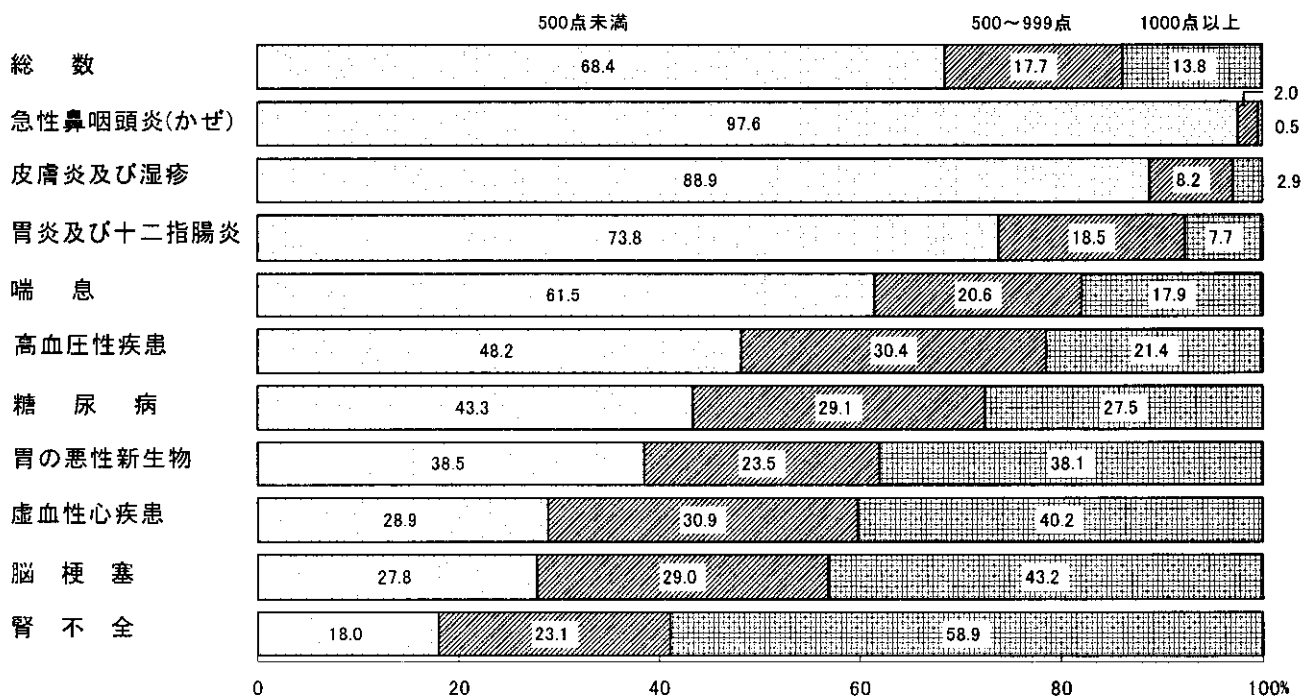
(単位:%) (平成12年6月審査分)

	総数	500点未満						500~ 999	1000~ 1499	1500~ 1999	2000点 以上
		総数	100点 未満	100~ 199	200~ 299	300~ 399	400~ 499				
総数	100.0	68.4	24.7	18.2	11.6	8.3	5.7	17.7	6.9	3.2	3.7
胃の悪性新生物	100.0	38.5	7.5	13.7	7.1	5.5	4.7	23.5	9.0	5.6	23.4
脳梗塞	100.0	27.8	6.6	4.6	4.9	5.9	5.7	29.0	18.2	12.9	12.1
虚血性心疾患	100.0	28.9	5.6	5.9	5.9	6.1	5.4	30.9	17.7	10.2	12.3
高血圧性疾患	100.0	48.2	6.1	10.7	12.2	11.1	8.1	30.4	12.4	4.8	4.2
糖尿病	100.0	43.3	12.3	10.0	7.6	7.7	5.8	29.1	11.9	7.4	8.2
胃炎及び十二指腸炎	100.0	73.8	24.3	18.5	13.1	10.2	7.8	18.5	4.8	1.3	1.5
喘息	100.0	61.5	13.1	18.2	13.6	9.6	7.0	20.6	9.0	4.7	4.2
腎不全	100.0	18.0	5.4	4.1	3.3	2.6	2.6	23.1	16.9	17.3	24.8
皮膚炎及び湿疹	100.0	88.9	44.0	20.6	13.1	6.6	4.6	8.2	2.1	0.5	0.3
急性鼻咽頭炎(かぜ)	100.0	97.6	60.7	19.4	11.0	3.9	2.5	2.0	0.3	0.1	0.1

注:「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。

図6 主な傷病別にみた薬剤点数別件数の構成割合(入院外・投薬)

(平成12年6月審査分)



### 3 投薬における薬剤種類数の状況

入院外の投薬における薬剤種類数別件数の構成割合を主な傷病別にみると、「胃炎及び十二指腸炎」、「急性鼻咽頭炎（かぜ）」、「皮膚炎及び湿疹」及び「高血圧性疾患」では「1～2種類」の割合がそれぞれ59.4%、58.7%、54.5%、52.3%と5割を超えている。（表7、図7）

表7 主な傷病別にみた薬剤種類数別件数の構成割合，1件当たり薬剤種類数(入院外・投薬)

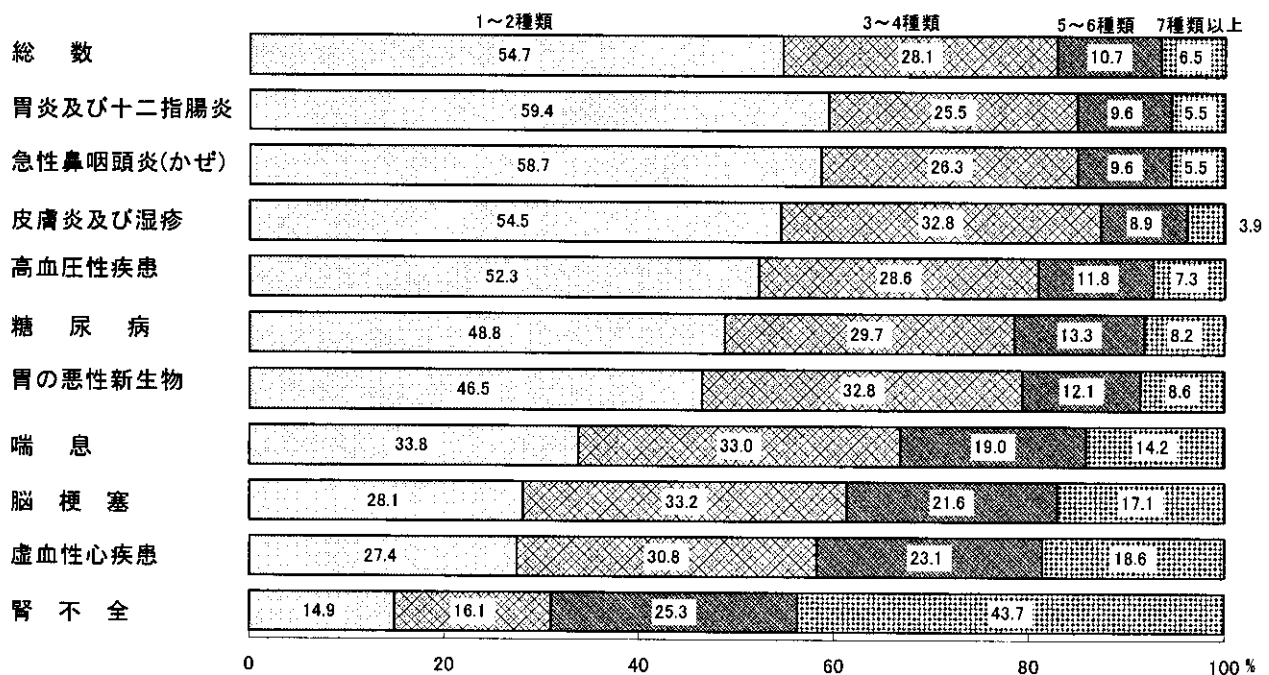
(単位:%) (平成12年6月審査分)

	総数	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類以上	1件当たり薬剤種類数
総数	100.0	28.3	26.4	17.4	10.7	6.5	4.2	2.6	1.5	0.9	1.5	2.90
胃の悪性新生物	100.0	25.1	21.4	19.4	13.4	6.3	5.8	2.1	0.9	2.2	3.4	3.27
脳梗塞	100.0	11.9	16.1	17.7	15.6	11.8	9.8	6.5	3.8	2.6	4.2	4.29
虚血性心疾患	100.0	13.7	13.7	16.3	14.5	12.5	10.6	7.4	3.8	2.8	4.6	4.34
高血圧性疾患	100.0	28.4	23.9	17.7	10.9	7.0	4.8	3.3	1.6	0.9	1.5	2.99
糖尿病	100.0	26.2	22.6	17.5	12.2	8.2	5.2	3.3	2.0	1.1	1.9	3.16
胃炎及び十二指腸炎	100.0	33.4	26.1	16.0	9.5	5.8	3.8	2.0	1.2	0.8	1.4	2.71
喘息	100.0	14.2	19.6	18.8	14.2	10.7	8.3	5.3	3.1	1.9	3.9	3.97
腎不全	100.0	7.2	7.7	7.2	8.8	11.1	14.2	8.4	8.6	4.7	22.0	6.78
皮膚炎及び湿疹	100.0	25.0	29.5	21.1	11.6	5.7	3.2	1.4	1.1	0.6	0.7	2.74
急性鼻咽頭炎(かぜ)	100.0	31.4	27.2	15.5	10.7	7.4	2.2	2.9	1.4	0.2	1.0	2.70

注:「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。

図7 主な傷病別にみた薬剤種類数別件数の構成割合(入院外・投薬)

(平成12年6月審査分)



### Ⅲ 薬効分類別にみた薬剤使用状況（入院・入院外）

入院の全薬剤における薬効分類別薬剤点数の構成割合をみると、一般医療、老人医療とも「抗生物質製剤」の割合が最も多く、それぞれ14.3%、18.3%であり、次いで「生物学的製剤」が、それぞれ12.9%、10.5%となっている。

入院外では一般医療は「ホルモン剤」が7.9%、老人医療では「循環器官用薬」が9.7%と多く、次いで、一般医療、老人医療とも「その他の代謝性医薬品」がそれぞれ6.5%、7.4%となっている。

(表8)

表8 一般医療-老人医療別にみた薬効分類別薬剤点数の構成割合

	総 数	一 般 医 療				老 人 医 療			
		総 数	0~14歳	15~39歳	40~69歳	総 数	70~79歳	80歳以上	
<b>入 院</b>									
総 数	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0	100.0	100.0	100.0 (100.0)	100.0	100.0	
中枢神経系用薬	4.3 (4.1)	5.7 (5.3)	5.9	6.7	5.5	2.9 (2.6)	3.6	1.8	
循環器官用薬	6.5 (7.2)	4.5 (5.3)	2.2	1.9	5.3	8.5 (9.5)	7.8	9.7	
ホルモン剤	1.6 (1.6)	1.8 (1.6)	1.5	2.7	1.6	1.5 (1.5)	1.6	1.3	
外皮用薬	1.5 (1.7)	1.2 (1.2)	0.9	1.2	1.2	1.8 (2.2)	1.7	1.9	
滋養強壮薬	6.0 (5.8)	4.8 (4.7)	2.6	3.8	5.2	7.2 (7.3)	5.9	9.1	
血液・体液用薬	9.1 (9.1)	9.5 (9.6)	9.8	8.7	9.6	8.7 (8.4)	8.3	9.2	
その他の代謝性 医薬品	7.1 (7.2)	6.0 (6.6)	2.4	4.1	6.7	8.2 (7.8)	8.4	7.8	
抗生物質製剤	16.3 (17.2)	14.3 (15.2)	27.0	21.4	11.8	18.3 (19.7)	15.9	22.1	
生物学的製剤	11.7 (10.7)	12.9 (13.0)	19.1	13.1	12.3	10.5 (8.0)	11.3	9.3	
診断用薬	6.1 (5.6)	7.1 (6.4)	2.9	4.8	7.9	5.2 (4.6)	6.7	2.7	
その他の薬効	22.5 (22.4)	25.0 (24.5)	21.0	25.0	25.4	19.9 (19.8)	21.4	17.5	
薬剤名無記載	7.2 (7.5)	7.1 (6.6)	4.7	6.6	7.4	7.4 (8.6)	7.3	7.5	
<b>入 院 外</b>									
総 数	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0	100.0	100.0	100.0 (100.0)	100.0	100.0	
中枢神経系用薬	3.3 (3.0)	2.7 (2.6)	0.6	4.0	2.7	4.1 (3.6)	3.9	4.7	
循環器官用薬	7.5 (8.6)	6.1 (7.6)	0.0	1.2	8.0	9.7 (10.4)	9.7	9.9	
ホルモン剤	6.3 (5.2)	7.9 (6.0)	28.9	9.4	4.8	3.8 (3.9)	3.5	4.5	
外皮用薬	4.6 (4.3)	4.1 (3.9)	3.5	5.8	3.8	5.4 (4.9)	5.4	5.4	
滋養強壮薬	0.8 (1.1)	0.7 (1.0)	1.1	0.5	0.6	1.1 (1.1)	1.0	1.2	
血液・体液用薬	3.0 (3.1)	2.2 (2.4)	0.9	1.5	2.5	4.3 (4.3)	4.2	4.5	
その他の代謝性 医薬品	6.9 (7.8)	6.5 (7.6)	9.9	3.4	6.7	7.4 (8.1)	7.6	7.0	
抗生物質製剤	3.4 (3.6)	4.7 (4.9)	17.2	8.7	2.1	1.3 (1.5)	1.4	1.2	
生物学的製剤	1.5 (1.3)	2.3 (1.9)	2.1	3.6	2.1	0.2 (0.4)	0.3	0.1	
診断用薬	1.9 (2.1)	2.1 (2.3)	0.2	2.1	2.4	1.6 (1.7)	1.7	1.3	
その他の薬効	18.2 (19.3)	19.1 (19.9)	14.4	26.4	18.2	16.7 (18.2)	17.1	15.6	
薬剤名無記載	42.7 (40.7)	41.5 (39.9)	21.3	33.4	46.1	44.4 (41.9)	44.3	44.8	

注:1 薬剤が出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。  
 2 年齢階級の「70~79歳」には、「65~69歳」で老人保健法の適用を受ける者を含めている。  
 3 「その他の薬効」には、上記分類以外の感覚器官用薬、消化器官用薬、腫瘍用薬、化学療法剤及び放射性医薬品等の分類を含んでいる。  
 4 「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指すもので、血液製剤は「生物学的製剤」に分類される。  
 5 全薬剤点数に占める入院の割合は27.3%、入院外の割合は72.7%であり、約1:3の比率となっている。  
 6 ( )内は平成11年6月審査分

IV 参考表

第1表 入院-入院外別等にした薬剤点数の構成比

(単位:%)

(平成12年6月審査分)

	総 数			入 院			入 院 外		
	総 数	一般医療	老人医療	総 数	一般医療	老人医療	総 数	一般医療	老人医療
全薬剤点数	100.0	58.0	42.0	27.3	13.8	13.4	72.7	44.2	28.5
投薬・注射薬剤点数	87.9	50.1	37.9	21.9	11.1	10.8	66.0	39.0	27.1
投薬薬剤点数	65.4	38.7	26.7	5.7	3.0	2.7	59.7	35.6	24.0
注射薬剤点数	22.6	11.4	11.2	16.2	8.1	8.1	6.4	3.4	3.0
その他の薬剤点数	12.1	7.9	4.1	5.4	2.8	2.6	6.7	5.2	1.5

第2表 一般医療-老人医療別にした薬剤の比率

(単位:%)

(各年6月審査分)

	総 数		一 般 医 療						老 人 医 療							
			総 数		0~14歳		15~39歳		40~69歳		総 数		70~79歳		80歳以上	
	12年	11年	12年	11年	12年	11年	12年	11年	12年	11年	12年	11年	12年	11年	12年	11年
全薬剤比率	22.8	23.5	22.2	23.0	18.8	16.8	18.3	19.4	23.8	24.8	23.8	24.2	24.5	25.2	22.3	22.3
薬剤比率	20.1	20.8	19.2	20.1	13.1	12.5	16.2	17.3	20.9	21.8	21.4	22.0	21.8	22.7	20.8	20.7
投薬薬剤比率	14.9	15.5	14.8	15.3	10.8	9.8	11.8	12.3	16.2	16.8	15.1	15.7	16.0	16.9	13.5	13.6
注射薬剤比率	5.2	5.4	4.4	4.8	2.2	2.8	4.3	5.0	4.7	5.0	6.3	6.3	5.8	5.8	7.2	7.1
その他の薬剤比率	2.8	2.6	3.0	2.9	5.8	4.2	2.1	2.1	2.9	2.9	2.3	2.2	2.7	2.5	1.6	1.6
					入 院											
全薬剤比率	12.1	12.7	11.4	12.6	7.6	8.1	10.1	11.2	12.3	13.5	13.0	13.0	13.0	13.1	12.9	12.8
薬剤比率	9.7	10.4	9.1	10.2	6.2	7.1	8.4	9.7	9.7	10.7	10.4	10.6	9.9	10.3	11.2	11.0
投薬薬剤比率	2.5	2.9	2.5	2.8	1.3	1.1	2.0	2.5	2.8	3.1	2.6	3.0	2.6	3.2	2.6	2.7
注射薬剤比率	7.2	7.5	6.7	7.4	4.9	6.1	6.5	7.2	6.9	7.6	7.9	7.6	7.3	7.1	8.7	8.3
その他の薬剤比率	2.4	2.4	2.3	2.4	1.3	1.0	1.6	1.5	2.6	2.7	2.5	2.4	3.1	2.8	1.6	1.8
					入 院 外											
全薬剤比率	34.1	33.3	31.5	30.6	26.2	22.6	24.9	25.2	34.5	33.2	39.0	38.8	38.5	38.5	40.2	39.8
薬剤比率	31.0	30.4	27.9	27.3	17.5	16.2	22.4	22.7	31.4	30.1	37.0	36.9	36.2	36.2	38.8	38.4
投薬薬剤比率	28.0	26.9	25.5	24.4	17.0	15.7	19.7	19.3	28.7	27.0	32.8	32.3	32.2	31.8	34.3	33.4
注射薬剤比率	3.0	3.5	2.4	2.9	0.5	0.5	2.8	3.4	2.7	3.1	4.1	4.6	4.0	4.4	4.5	4.9
その他の薬剤比率	3.1	2.9	3.7	3.3	8.7	6.4	2.5	2.5	3.2	3.1	2.0	2.0	2.3	2.2	1.4	1.4

注:1 薬剤の比率については、右頁「薬剤の比率について」参照。

2 年齢階級の「70~79歳」には、「65~69歳」で老人保健法の適用を受ける者を含めている。

第3表 一般医療-老人医療別にした1件当たり点数, 1日当たり点数, 1件当たり日数(入院)

(各年6月審査分)

	総 数		一 般 医 療						老 人 医 療							
			総 数		0~14歳		15~39歳		40~69歳		総 数		70~79歳		80歳以上	
	12年	11年	12年	11年	12年		12年		12年		12年	11年	12年			
総点数	36 135.7	34 114.5	32 224.9	31 505.3	1 件 当 たり 点 数				42 124.8	37 888.7	43 236.8	40 498.7				
全薬剤点数	4 385.8	4 347.3	3 678.3	3 958.4	21 562.8	24 314.0	37 774.0	4 628.4	5 469.2	4 909.9	5 640.9	5 218.2				
投薬・注射薬剤点数	3 519.0	3 540.5	2 945.9	3 216.6	1 628.8	2 443.9	4 243.9	4 628.4	4 396.7	4 009.0	4 291.0	4 551.3				
投薬薬剤点数	914.6	985.9	802.4	882.8	1 338.8	2 045.1	3 663.7	1 086.4	1 086.4	1 135.1	1 121.3	1 035.5				
注射薬剤点数	2 604.4	2 554.6	2 143.5	2 333.8	286.3	474.2	1 048.8	1 086.4	1 086.4	1 135.1	1 121.3	1 035.5				
その他の薬剤点数	866.7	806.8	732.3	741.8	1 052.5	1 570.9	2 615.0	3 310.3	2 873.9	3 169.7	3 515.9	3 515.9				
					290.0	398.8	964.7	1 072.5	900.9	1 349.9	666.9					
総点数	2 468.3	2 213.1	2 421.7	2 231.8	1 日 当 たり 点 数				2 525.3	2 191.0	2 690.6	2 304.3				
全薬剤点数	299.6	282.0	276.4	280.4	3 140.3	2 389.1	2 362.7	2 525.3	2 191.0	2 690.6	2 304.3					
投薬・注射薬剤点数	240.4	229.7	221.4	227.9	237.2	240.1	289.5	327.9	283.9	351.0	296.9					
投薬薬剤点数	62.5	64.0	60.3	62.5	195.0	200.9	229.2	263.6	231.8	267.0	259.0					
注射薬剤点数	177.9	165.7	161.1	165.3	41.7	46.6	65.6	65.1	65.6	69.8	58.9					
その他の薬剤点数	59.2	52.3	55.0	52.5	153.3	154.4	163.6	198.4	166.2	197.2	200.0					
					42.2	39.2	60.3	64.3	52.1	84.0	37.9					
					1 件 当 たり 日 数				6.87	10.18	15.99	16.68	17.29	16.07	17.58	

注: 年齢階級の「70~79歳」には、「65~69歳」で老人保健法の適用を受ける者を含めている。

第4表 一般医療-老人医療別にした1件当たり点数, 1日当たり点数, 1件当たり日数(入院外)

(各年6月審査分)

	総 数		一 般 医 療						老 人 医 療							
			総 数		0~14歳		15~39歳		40~69歳		総 数		70~79歳		80歳以上	
	12年	11年	12年	11年	12年		12年		12年		12年	11年	12年			
総点数	1 445.5	1 565.6	1 266.4	1 412.7	1 件 当 たり 点 数				1 981.9	2 037.0	1 985.8	1 972.5				
全薬剤点数	493.0	520.6	399.5	432.8	890.2	1 023.1	1 485.5	1 981.9	2 037.0	1 985.8	1 972.5					
投薬・注射薬剤点数	447.9	475.5	352.7	386.1	233.1	254.8	512.8	773.1	791.3	764.7	793.3					
投薬薬剤点数	404.6	421.4	322.3	344.7	155.8	228.8	465.8	732.8	750.7	719.3	765.5					
注射薬剤点数	43.3	54.0	30.4	41.4	151.3	201.9	426.2	651.0	657.7	640.4	676.5					
その他の薬剤点数	45.2	45.1	46.8	46.6	4.5	27.0	39.6	81.9	93.0	78.9	89.0					
					77.2	26.0	47.0	40.3	40.6	45.4	27.8					
総点数	678.7	727.2	656.4	713.2	1 日 当 たり 点 数				726.1	758.8	737.1	700.7				
全薬剤点数	231.5	241.8	207.1	218.5	538.4	608.3	700.5	726.1	758.8	737.1	700.7					
投薬・注射薬剤点数	210.3	220.8	182.8	195.0	141.0	151.5	241.8	283.2	294.8	283.8	281.8					
投薬薬剤点数	190.0	195.7	167.1	174.1	94.2	136.1	219.7	268.5	279.7	267.0	271.9					
注射薬剤点数	20.3	25.1	15.8	20.9	91.5	120.0	201.0	238.5	245.0	237.7	240.3					
その他の薬剤点数	21.2	21.0	24.3	23.5	2.8	16.0	18.7	30.0	34.6	29.3	31.6					
					46.7	15.4	22.2	14.7	15.1	16.9	9.9					
					1 件 当 たり 日 数				2.73	2.68	2.69	2.82				

注: 年齢階級の「70~79歳」には、「65~69歳」で老人保健法の適用を受ける者を含めている。

第5表 傷病分類にみた薬剤の比率, 1件当たり点数, 1日当たり点数, 1件当たり日数(入院)

(平成12年6月審査分)

	全薬剤 比率	薬剤 比率	薬剤		その他 の薬剤 比率	1件当たり点数		1日当たり点数		1件当 り日数
			投薬薬 剤比率	注射薬 剤比率		総点数	全薬剤 点 数	総点数	全薬剤 点 数	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)					
総 数	12.1	9.7	2.5	7.2	2.4	36 135.7	4 385.8	2 468.3	299.6	14.64
感染症及び寄生虫症	20.0	18.6	2.8	15.8	1.5	30 046.9	6 015.7	2 497.0	499.9	12.03
新 生 物	18.2	15.1	2.7	12.4	3.1	46 102.7	8 397.4	3 227.4	587.9	14.28
胃の悪性新生物	16.1	13.6	2.7	10.9	2.6	48 446.1	7 816.3	3 146.3	507.6	15.40
血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	21.6	20.1	2.8	17.3	1.5	37 454.6	8 072.3	2 975.6	641.3	12.59
内分泌, 栄養及び代謝疾患	10.7	8.6	3.1	5.5	2.1	32 079.5	3 440.5	2 291.0	245.7	14.00
糖 尿 病	10.3	8.3	3.3	5.0	2.0	33 322.3	3 443.8	2 264.9	234.1	14.71
精神及び行動の障害	5.4	5.3	4.5	0.8	0.2	31 895.5	1 730.8	1 154.2	62.6	27.63
神経系の疾患	8.9	7.7	2.6	5.1	1.2	37 044.2	3 297.5	1 884.6	167.8	19.66
眼及び付属器の疾患	10.7	4.3	2.2	2.1	6.4	33 675.3	3 617.5	4 712.7	506.3	7.15
耳及び乳様突起の疾患	9.7	7.7	1.7	6.0	2.0	25 323.6	2 454.8	2 976.7	288.5	8.51
循環器系の疾患	12.0	8.9	2.2	6.7	3.1	46 792.8	5 629.2	2 991.1	359.8	15.64
高血圧性疾患	11.3	8.1	3.3	4.7	3.3	34 023.3	3 850.4	2 231.2	252.5	15.25
虚血性心疾患	11.0	5.5	1.5	4.0	5.5	56 671.3	6 250.0	4 876.5	537.8	11.62
脳 梗 塞	14.8	13.0	2.5	10.4	1.8	42 836.3	6 318.5	2 224.9	328.2	19.25
呼吸器系の疾患	12.6	11.4	2.5	8.8	1.3	27 997.1	3 539.9	2 606.0	329.5	10.74
急性鼻咽頭炎(かぜ)	8.4	6.4	1.4	5.0	2.0	24 355.4	2 054.2	2 492.6	210.2	9.77
喘 息	9.3	8.4	3.3	5.0	1.0	21 365.2	1 991.7	2 363.4	220.3	9.04
消化器系の疾患	13.1	11.2	2.3	8.9	1.9	30 854.5	4 039.4	2 763.8	361.8	11.16
胃炎及び十二指腸炎	9.4	6.9	2.1	4.8	2.4	19 750.7	1 847.7	1 983.3	185.5	9.96
皮膚及び皮下組織の疾患	9.7	8.2	3.1	5.1	1.5	26 930.3	2 602.0	2 276.3	219.9	11.83
皮膚炎及び湿疹	7.5	6.6	3.2	3.4	0.9	20 777.1	1 558.5	1 989.2	149.2	10.44
筋骨格系及び結合組織の 疾患	8.3	6.8	2.2	4.6	1.5	36 784.2	3 069.3	2 212.0	184.6	16.63
尿路性器系の疾患	12.9	7.6	2.1	5.5	5.2	37 300.4	4 796.0	3 073.2	395.1	12.14
腎 不 全	16.7	8.6	2.2	6.4	8.1	55 649.9	9 288.7	3 300.2	550.8	16.86
妊娠, 分娩及び産じょく 損傷, 中毒及びその他の 外因の影響	8.9	8.4	1.4	7.1	0.5	15 292.4	1 368.3	2 580.5	230.9	5.93
その他の傷病	6.5	4.8	1.6	3.2	1.7	36 552.9	2 365.0	2 427.1	157.0	15.06
その他の傷病	8.8	7.2	1.4	5.9	1.6	24 212.3	2 133.0	3 059.5	269.5	7.91

注: 薬剤の比率については、下記「薬剤の比率について」参照。

第6表 傷病分類別にみた薬剤の比率, 1件当たり点数, 1日当たり点数, 1件当たり日数(入院外)

(平成12年6月審査分)

	全薬剤 比率	薬剤 比率	薬剤		その他 の薬剤 比率	1件当たり点数		1日当たり点数		1件当 り日数
			投薬薬 剤比率	注射薬 剤比率		総点数	全薬剤 点 数	総点数	全薬剤 点 数	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)					
総 数	34.1	31.0	28.0	3.0	3.1	1 445.5	493.0	678.7	231.5	2.13
感染症及び寄生虫症	36.7	29.8	22.2	7.7	6.9	1 248.4	458.2	619.2	227.3	2.02
新 生 物	39.6	32.7	23.8	8.9	6.9	2 563.2	1 015.6	1 355.8	537.2	1.89
胃の悪性新生物	49.4	45.2	42.3	2.9	4.2	2 702.8	1 334.8	1 255.4	620.0	2.15
血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	44.7	25.3	15.0	10.3	19.4	1 844.0	825.0	1 008.9	451.4	1.83
内分泌, 栄養及び代謝疾患	43.0	33.8	32.6	1.2	9.2	1 988.5	854.6	1 012.9	435.3	1.96
糖 尿 病	38.6	33.9	32.7	1.1	4.8	2 092.8	808.3	1 071.5	413.8	1.95
精神及び行動の障害	33.4	33.2	32.6	0.6	0.2	1 478.5	493.8	715.2	238.9	2.07
神経系の疾患	41.4	40.6	37.2	3.3	0.8	1 461.0	604.9	702.6	290.9	2.08
眼及び付属器の疾患	18.2	17.6	17.4	0.3	0.5	772.3	140.3	569.3	103.4	1.36
耳及び乳様突起の疾患	16.3	14.1	12.8	1.3	2.2	910.4	148.5	375.0	61.2	2.43
循環器系の疾患	44.0	43.0	41.5	1.5	1.0	1 760.2	774.3	795.9	350.1	2.21
高血圧性疾患	43.2	42.5	41.4	1.2	0.6	1 626.0	702.1	738.6	318.9	2.20
虚血性心疾患	50.1	48.3	47.2	1.1	1.8	2 055.4	1 028.7	958.6	479.8	2.14
脳 梗 塞	45.4	44.2	42.5	1.7	1.2	2 125.7	964.3	846.3	383.9	2.51
呼吸器系の疾患	31.8	30.9	29.0	1.9	0.9	969.1	308.0	531.9	169.1	1.82
急性鼻咽頭炎(かぜ)	19.0	18.6	17.7	0.8	0.4	656.2	124.5	402.1	76.3	1.63
喘 息	43.2	43.0	40.9	2.0	0.2	1 359.7	587.4	729.9	315.3	1.86
消化器系の疾患	36.0	34.5	32.9	1.7	1.5	1 528.1	550.4	735.2	264.8	2.08
胃炎及び十二指腸炎	28.9	27.9	26.4	1.5	1.0	1 343.2	387.9	629.9	181.9	2.13
皮膚及び皮下組織の疾患	32.2	31.7	30.7	1.0	0.5	731.9	235.4	439.7	141.4	1.66
皮膚炎及び湿疹	33.2	32.7	32.0	0.7	0.5	660.9	219.4	433.6	143.9	1.52
筋骨格系及び結合組織の 疾患	30.6	29.9	24.0	5.8	0.7	1 400.0	428.6	395.5	121.1	3.54
尿路性器系の疾患	23.2	17.7	13.4	4.3	5.5	3 240.8	750.8	1 432.3	331.8	2.26
腎 不 全	16.3	9.5	5.2	4.3	6.8	26 462.6	4 317.0	3 148.7	513.7	8.40
妊娠, 分娩及び産じょく 損傷, 中毒及びその他の 外因の影響	11.2	10.5	9.2	1.3	0.8	1 142.6	128.1	594.4	66.6	1.92
その他の傷病	11.9	11.1	9.6	1.5	0.8	1 239.7	147.6	449.1	53.5	2.76
その他の傷病	24.4	14.8	13.6	1.1	9.6	1 142.9	278.8	727.9	177.6	1.57

注: 薬剤の比率については、下記参照。

薬剤の比率について

1 「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除外してある。

2 全薬剤比率とは、総点数に占める「投薬」「注射」及びその他診療行為の中の薬剤点数の割合である。

3 薬剤比率とは、総点数に占める「投薬」及び「注射」の中の薬剤点数の割合である。

4 その他薬剤比率とは、総点数に占める「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中の薬剤点数の割合である。

5 入院時食事療養は、費用額算定を点数換算して集計を行った。